

見学会報告
日本平動物園観察会
高山達子

2022年12月4日(日)、何回かコロナの影響で中止になっていた、日本平動物園のバックヤードツアー&見学会が開催されました。

晴天ではありませんが、それほど寒くもなく動物園見学にはいい日和で、大人19名子供2名の計21名の参加者と日本平動物園を楽しんできました。

ゲート前に集合して、日本平動物園職員でNPO会員の山本さんからの挨拶があり、1時間ほど自由時間。三宅さんに動物園の裏話を聞きながら、レッサーパンダ、ブチハイエナ、ホッキョクグマ(ロシア)と見ていたらあっという間に園内にある動物病院見学の時間に。

まずは動物病院の山口さんに、診察室を案内してもらいます。ここで、手術もするとの事で動物の命を預かる大事な仕事なのがよくわかります。それに、薬の調合も獣医さんのお仕事になるそうで、人間の場合には分業になっている仕事が全部、獣医さんにかかってくる大変なお仕事なのがよくわかりました。その後、解剖室へ。老衰、病気等で命を落とす動物は、その死因を究明するためにも解剖は大切なこと、そして次に活かすためにも、標本を作ることも大事なようです。

そのあと、昼食も含めた自由時間で、のんびり、動物園見学を楽しみます。

13時から、猛獣館299の3階の動物たちが普段寝ているバックヤードを見せていただきます。今度は飼育員の中根さんの案内です。まずは危険なウイルス、病原菌等を持ち込まないように、念入りに靴を消毒して、バックヤードに入ります。

ジャガー、アムールトラ、ライオン、ピューマ達どの動物のところも、同じような仕組みで、人と動物が絶対に一緒にならないように、きっちり分けられています。人が作業するための通路には何重にもロッ



午後の猛獣館3階のバックヤード見学

クが掛かっている、間違いがないようになっています。そして動物たちだけが歩ける通路が各部屋につながっています。お部屋の中には、戻ってきたときに食べられるように、食事が準備されていました。成形されたお肉ではない、そのままのシカ肉等を与えると反応が違うというような、お話も聞くことができました。食事の回数も動物によって違うようで、肉食のトラやライオンたちは、1週間に1回はエサをもらえない日があるそうです。反対に草食動物や小さな動物たちは1日に2~3回の食事時間があるようで、動物ごとに食事内容も時間等も違うことがよくわかりました。

その後、見学エリアに移動して、爪切りの訓練の様子をみせてもらいます。指示棒?をうまく利用して、伸び上がって檻に手をかけさせます。すると檻をつかむことによって、肉球が押され、爪が出てきます。そこを爪切りでチョンと切る練習です。どの子も上手に言われたとおり、爪を出して、ご褒美のお肉をもらっていました。

普段見ることができない、動物園のバックヤードを見せていただき、とても楽しい1日でした。